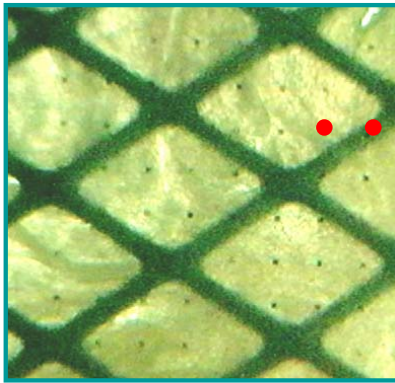


MED64システムは心筋の電気生理実験に最適です！

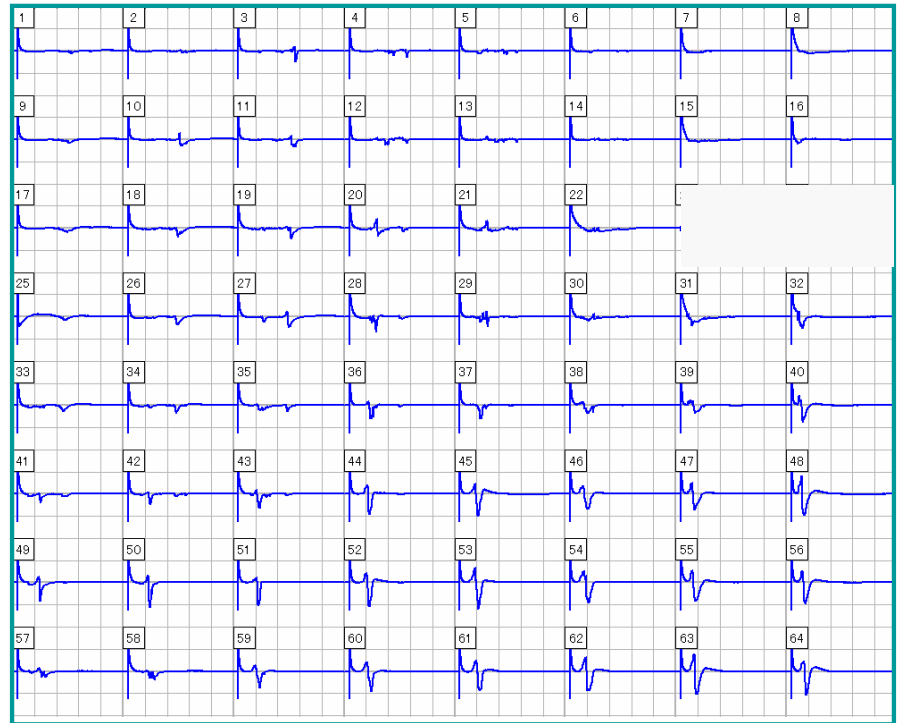
心筋・急性実験(心室筋スライス・心房条片)

急性心室筋スライスの誘発応答

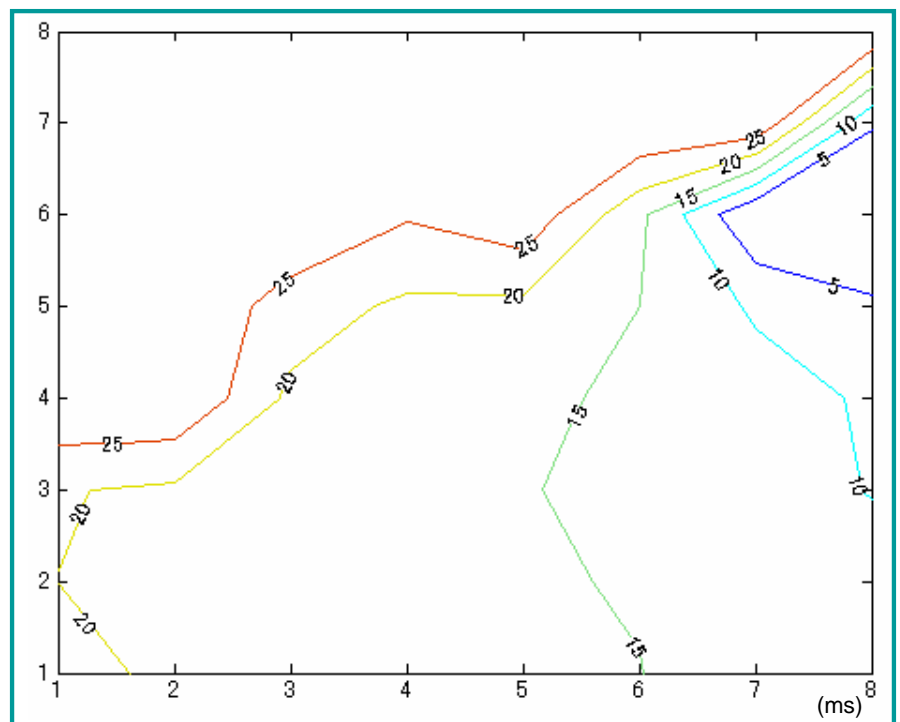


(上図)MEDプローブ上に置かれた
モルモット左心室筋スライス
(300 μm 厚)

使用プローブ: MED-P545A
(450 μm 間隔)



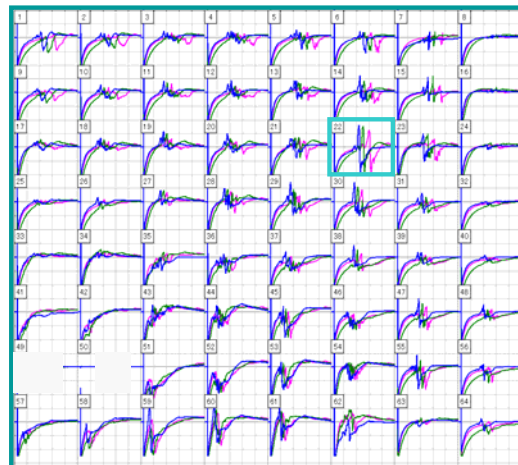
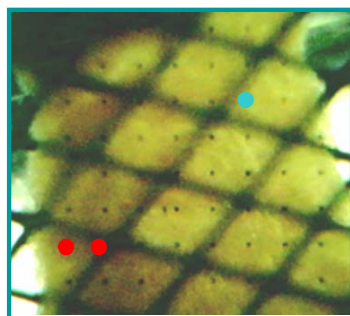
(上図)MEDプローブ上の2つの電極(上図赤丸箇所)を (2.0mV, 20ms/Div)
通して刺激したときのペーシング応答。(電気刺激: 100 μA)



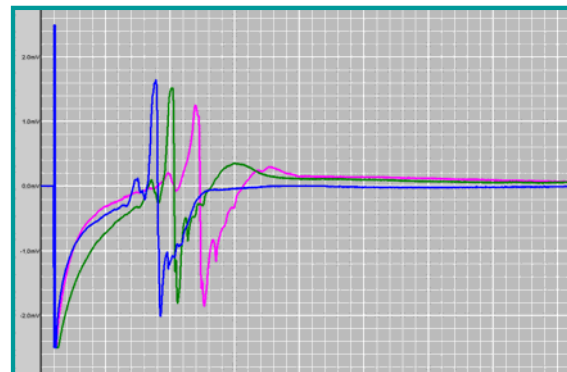
(上図)ペーシング応答のフェーズマップ。それぞれの等高線は、
刺激からの誘発応答までの潜時を示している。

心室筋スライスを用いた薬効評価

- 急性心室筋スライスを刺激して得られる誘発活動電位によって、薬物の効果を検討



(1.0mV, 20ms/Div)



(1.0mV, 20ms/Div)

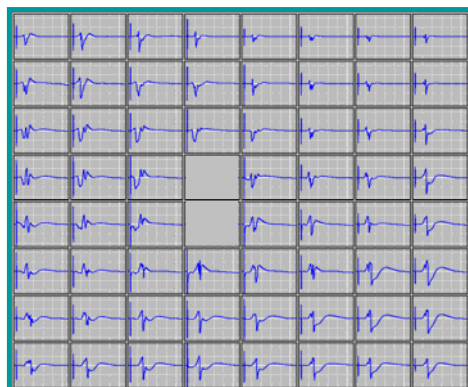
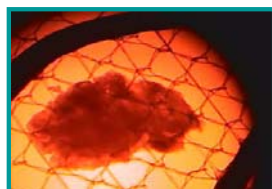
(左図)MEDプローブ上に置かれた成熟ラット左心室筋スライス(250 μm 厚)
使用プローブ: MED-P545A (450 μm 間隔)

データ提供: 東京大学大学院
農学生命科学研究科 局教授

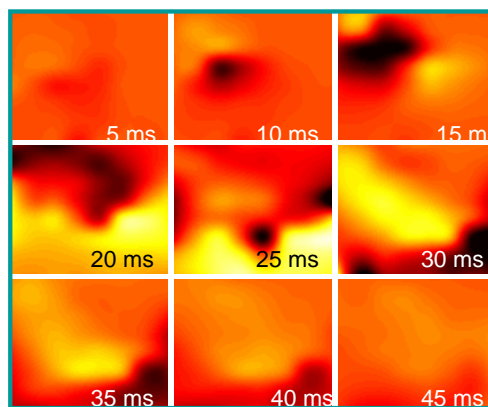
(中央図) MED プローブ上2点の電極(左図写真中赤丸箇所)に刺激(100 μA)を印加して得られた誘発応答を、Quinidine(100 μM)投与前後で比較したもの。青色:Control ピンク色:Quinidine 緑色:Wash out

(右図)ch22で記録された信号(上図水色箇所)をズームアップしたもの。Quinidine(100 μM)投与後は誘発活動電位が出現するまでの潜時と活動電位の持続時間が明瞭に延長し、また活動電位の立ち上がり相の傾斜が緩慢になった(ピンク色)。この現象はwash outによってほぼ元の状態に回復した(緑色)。

摘出左心房条片の誘発応答



(2.0 mV, 20 ms/Div)



データ提供: 台湾・馬偕記念病院 葉先生

(左図)MEDプローブ上に置かれたラット左心房条片 使用プローブ: MED-P545A (450 μm 間隔)

(中央図)電気刺激によるペーシングによって誘発された応答。刺激はMEDプローブの64電極のうち中央部の2点を選択して印加

(右図)ペーシング活動の2次元伝播の様子。各フレームは記録された細胞外電位2次元のイメージとして表したものの。(正の電位:白色、負の電位:黒色)各フレームに表示されている時間は刺激後の時間を示す。

実験の内容によっては対応できない場合もあります。具体的なご要望については弊社にお尋ね下さい。製品の定格及びデザインは改善等のため予告無く変更する場合があります。カタログ掲載のデータ・グラフ等は代表例を示しており、保証できるものではありません。カタログ記載内容は2009年10月1日現在のものです。製品の色は印刷物ですので、実際の色と若干異なる場合があります。